

在宅勤務

時間の余裕が
心の余裕につながる

現在、在宅勤務制度を利用中の
Kさんにお話を聞かせて頂きました

在宅勤務を始める前、どのような不安や期待を抱いていましたか？

【Kさん】不安とまではいきませんが、自宅での作業になるので、情報漏洩しないように仕事環境の整備に気を付けなければと心配をしました。自宅のネット環境での漏洩が一番心配で、自宅のモデムも念の為セキュリティの高いものに買い替えました。

期待したのは時間の効率アップです。通勤に往復3時間掛かるので、子供の通院等でも有休を1日ではなく、半日取得し、半日は仕事が出来るだろうと期待しました。

常々会社との情報共有が重要

会社への連絡や報告、相談はどのようにしていますか？

【Kさん】1日1回以上は電話して、業務内容の確認を取るようになっています。有休のこと、連絡事項、業務内容で少し不安なことなどは、直属の上職者にまずはメールして、その後確認の電話を入れることで確実に情報共有するように心がけています。

業務はどのように進めますか？

【Kさん】CAD操作で解らないことが出て来た場合には、まずは自分で検索して、それでも解決できないことは電話で部の同僚に聞いています。

「手が空きそう」「作業が予定より早く終わりそう」と思った時には、終わる1時間位前に上職者に連絡したり、仕事を貰った時に作業がいつ完了しそうか大体の目安を伝えることで、次の作業を早めに考えてもらうようにしています。

家庭と仕事の両立を叶える在宅勤務

家族からの評判はどうですか？

【Kさん】父母も含め、家族の評判は上々です。夫は仕事の都合で遠方に外出していることも多く、子供の急な体調不良時に対応ができません。子供が発作を起こすことがあり、緊急で対応をする為には近くにすることが必要です。孫を預ってくれる父母も、不測の事態が起こった時に自分達では処置できないので、私が直ぐ駆けつけられる距離にすることが安心に繋がっているようです。そう考えると、父母のサポートがあったとしても、在宅勤務でないと今の仕事を続けることは困難だったかもしれない。

自分に合った制度活用を

Kさんは、以前育休から復職する際、通勤10時間短制度を利用したこともありましたよね。その時と比べてみてどう感じますか？

【Kさん】勿論どちらもいい制度ですが、自分の家庭状況を鑑みたとき、仕事と家庭の両立を叶えるのが在宅勤務制度でした。

時短制度を利用していた頃は、例えば子供が入院したときは午後半休を取って面会に行っていました。在宅勤務制度を利用するようになってからは、9時から16時まで仕事をしてから行っても面会時間に間に合うので、時間を有効活用できています。実感しています。

在宅勤務を他の人にも薦めたいと思いますか？

【Kさん】個人的には在宅勤務仲間が増えるのが嬉しいですし、是非他の方にもお薦めしたいです。自分の実感として時間の余裕が心の余裕に繋がっていることで、通勤時間が長い人程良さを実感できるはずですよ。

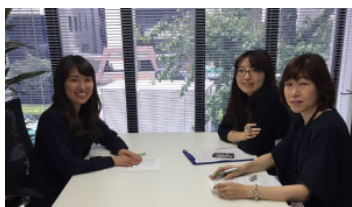
事情があり、会社を辞めざるを得ないと悩んでいる人は、この制度を利用することで仕事を続けられる可能性が高まると思います。

働き方が多様化しつつある

最後に何か一言お願いします！

【Kさん】家族からもよく言われますが、この制度が整備されている会社に勤められてよかったです。また、部署の上司や同僚の存在が本場に大きくて、皆の協力が無いと在宅勤務は成り立たないと実感しています。

もし、今後どなたかが在宅勤務に興味を持ったとき、まずは週1日だけ在宅勤務を利用できたりと、これからの働き方が多様化していったらいいなと思います。



写真左がKさん

～「えるぼし」をご存知ですか？～

当社は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定制度で、一定の基準を満たし、女性活躍推進に関する状況などが優良な企業に発行される認定えるぼし3段階目を取得しています。



Kさん
設計第一事業部 設計3部
入社9年目 現在、在宅勤務制度を活用中。

育休・
フレックス勤務仕事に取り組む姿勢にも
プラスに働く！

当社初、男性で育休を取ったOさんと、
直属の上司でフレックス勤務制度利用中の
Hさんにお話を聞かせて頂きました

・Oさんは有休やフレックス、短時間勤務など他の制度もある中、なぜ今回育休を選んだのですか？

【Oさん】出産後の妻を、家事育児の面でフォローする為に男性の育休制度があるのなら利用してみたいと思いました。

・育休取得期間を2週間にした理由を教えてください。

【Oさん】女性は出産直後の1カ月が一番大変だと聞いていました。長男の保育園があり里帰りは難しかったので、産後1カ月をどうフォローするかを考えた結果、最初の2週間は妻の母親が上京して面倒を見てくれ、私が残りの2週間をフォローすることにしました。また、復職後の仕事を見据えると、大きく穴を空けるのに不安もあり、育休に入るタイミングも業務が少し落ち着いた頃を見計らう必要がありました。

早い段階での相談が重要

・Hさんは、いつOさんから育休の話をお聞きしましたか？

【Hさん】大体半年位前でしたね。

【Oさん】早い段階で部署の人には伝えました。手続きについても、早めに始めました。

【Hさん】上司としては休み始める3カ月前くらいに言ってもらえると、色々調整しやすいです。3カ月前だと新しい案件に彼を入れるかどうかでも判断できます。

・Oさんは、育休取得前どのように業務の引継ぎを行いましたか？

【Oさん】引き続き相手の人と一緒に同じ案件を進めて情報共有して、相手に主体的に動いてもらうようにしました。それと、案件に関するメールは同時に上司に入れて、業務の進捗を大まかに把握してもらっていました。

家事への参加、
子供とのふれあいが
増えた

・Hさんは、フレックス勤務制度の利用に際して不安はありませんでしたか？

【Hさん】不安は特になかったですね。時間がスライドするといっても多くて1時間とか2時間ですし、今は月に5日程度なので、業務に大きな支障ありません。

・フレックス勤務制度利用前より、家事に参加する機会は増えましたか？



Hさん
設計第一事業部 設計1部

入社14年目 Oさんの上司であり、現在フレックス勤務制度を活用中。



Oさん
設計第一事業部 設計1部

入社11年目 第二子目の時、H30年5月に2週間の育休を取得。

【Hさん】増えましたね。以前は残業で帰宅が遅くなることも多かったけれど、今はタイムリミットがあつて早く帰るので、家の事に気持ちが回るようになりました。

・時間だけではなく心にも余裕が増えたわけですね。お子さんとはどう過ごされていますか？

【Hさん】宿題など勉強を見てあげています。

育児を体験し、
女性の気持ちを理解

・育休を取得して何か変わったことはありますか？

【Oさん】母親の四六時中つきつきりで子供の面倒を見なきゃいけない大変さが、取得前に比べてもっと分かるようになりました。自分は育休の延長で今もスムーズに妻をサポートできているか、思っています。育休中の経験が活きているのか、とつきにくいとは感じません。保育園の送迎で、パパママの知り合いも増えました。見送りは男性も多かったのが印象的でした。

・Hさんは、部下の男性社員が育休を取ったことに対して感想はありますか？

【Hさん】さつきO君も言っていました。育児は女性の方が負担が大きいと思います。それを肌で感じられた事が、いつかO君が管理職に就いて組織をまとめる立場になった時、部下の状況に合った対応力として役に立つと思います。部下に女性が居た場合、女性の気持ちも察することができるとは、と期待しています。

制度利用による様々な働き方を

最後に一言お願いします。

【Hさん】フレックス勤務については今も満足していますが、コアタイムが1時間前倒しになれば尚嬉しいです。習い事のお迎えを経験して、遠方の方はお子さんの習い事を諦めざるを得ない人も多いだろうと感じました。また、介護を目的としてフレックスを利用していている人がどう感じているかも気になります。

【Oさん】最初、当社に男性の育休制度があることを知らなかったのが、制度の事がもっと周知されたら、他にも取りたい人が出てくるのではと思います。